

条例案の修正を求める意見等	見解
<p>第3条1項の5に「その他この条例の趣旨に基づき市民が必要と認めること」とありますが、市長が積極的に認めなければ“やらない”“やれない”となり、条例は空文化します。従って上記下線部分は「市民活動支援の姿勢、態勢を保持すること」の如き内容に変えるのがベターだと思います。第3条2項に「…その基本事項については市民の意見を聴くものとする」とありますが、これは聞き流し(聴くとはしてはいますが)される懸念が拭いきれませぬ。従って下線部分は「市民の意見意向を反映させるものとする」に変えるのがベターかと思えます。</p>	<p>条例を空文化させないために、3条前項の規定が記したものです。第3条2項は、2条2項と重なるので削除します。</p>
<p>昨年7月、国連加盟国の約3分の2の122カ国が賛成して歴史的な核兵器禁止条約が採択されました。昨年暮れには、核兵器廃絶国際キャンペーンICANがノーベル平和賞を受賞しました。被爆者国際署名に全国969自治体首長が署名しているのに、横浜市長の林さんが署名していないのは遺憾である。横浜市は、1987年国連からピースメッセンジャー都市の称号を受けながら、これまで平和施策には後ろ向きの姿勢とのこと鎌倉市や藤沢市のように、子どもたちに核兵器の恐ろしさ、戦争の悲惨さ、平和の貴さを伝えるとともに、全国の青少年との交流をととして、平和意識の高揚と相互理解の促進を目的とした平和学習など行なってほしいです。</p>	<p>平和学習も含め各種平和施策の推進を条例制定により一層市に対し求めていきます。</p>
<p>基本原則を日常的に具体化するために、横浜大空襲 5月29日を“横浜平和の日”として毎年行事を組み、横浜大空襲記念館のような施設を常設するなど市として責任持って資料を集め常設への心意気を示して欲しい</p>	<p>党市議団として2018年度予算要望のなかで5月29日を「平和の日」に設定すること、仮称「横浜平和ミュージアム」整備を求めています。</p>
<p>横浜市平和事業推進に関する条例案意見 今朝の折り込み広告を拝見し、以下のとおり意見を述べさせていただきます。 この条例は非常に重要で、場合によると国政にも影響すると思われまます。そこで 1. 憲法前文のような格調高い前文が欲しい。 横浜市の平和都市に関する決議がずいぶん昔のことなので、二つの決議を統合した意味をもつ文章を前文で美しく謳っていただきたい。(小生には、そのような才能も知識もないので、案を示すことはできませんが、よろしく願いいたします。) 2. 第3条は、場合によると制限列挙的に見えるし、冗長であるので、以下を提案する。 3条案 1～3号は削除。 4, 5号を1, 2号とする。 2号文章のを以下のように修正する。 市民又は市民団体から事業の提案があった時、その提案が本条例の趣旨に合致している場合は、市長はその実施についての責任を負う。 (事業の実行が市であれ、市民であれ、市長は拒否してはならない、という意味です。 この文章により、1～3号は実行可能です)</p>	<p>市議団様 ご提案については、条例への反映は時間的に無理ですので、条例案の提案趣旨説明のなかで、展開するよう心がけます。第3条は、行政が取り組む平和施策を示したものです。</p>
<p>最近の世相から平和に対する危惧を強く感じているところです。1970年の平和都市宣言や1984年の非核兵器平和都市宣言があることを忘れておりました。今こそこれらの立派な宣言に基づいて貴党の提案する横浜市平和事業の推進に関する条例(素案)を決議することに大賛成です。尚、素案の中の第3条の(5)市長が必要と認めること。とあるを市会が必要と認めること。としてはいかがでしょうか。鎌倉市や藤沢市にならまいしょう。</p>	<p>この条例は、平和行政の推進を目指すものであり、あくまで市長を拘束するものであることをご理解願います。第3条は、行政が取り組む平和施策を示したものです。</p>
<p>日米の軍事基地に対する項目を設けたらと思います。</p>	<p>議会のなかで、意見が明確に分かれているものは条例から割愛していることをご了承ください。</p>
<p>昭和56年に戸塚区民になった76才の主婦です。通信隊のすぐ近くに住んで居ります。毎日そばを通る毎思う事ですが、この広大な土地を草を生い茂らせ休地になっている様を見るたび悲しくすら思う時があります。広報にもあまり詳しい情報が見掛けられません。人々のうわさ話等での情報のみで知る現状、今の現状はどうなっているのか今後どうなる予定なのか知りたいです。野球場が数ヶ所ある事は承知して居ります。色々予算や政治的な事もあると思いますが、どの様になるのか現状が知りたいです。もったいない精神で!</p>	<p>旧深谷通信所跡地については横浜市が2月に「深谷通信書跡地利用基本計画」を策定し公表しています。公園、公園型墓苑、道路が整備される主な施設です。公園にはスポーツ空間、外周道路は幅員50mです。</p>

<p>「横浜市平和事業の推進に関する条例」(素案)への意見 私は、所謂「無党派」です。また、いまのところ憲法改正には反対ですが、憲法論議がしっかりと行われたうえで、国民投票で憲法改正すべしとなれば、それに従いたいと思っています。以下は「パブリックコメント」の配布資料を拝読しての意見です。</p> <p>1. 条文ごとの意見 (基本原則) <第2条>: 「2市は、核兵器廃絶の実現に向けて国内外の都市等との連携を深めるものとする。」前条<第1条>には、核兵器廃絶に関することが何も触れられぬまま、唐突に本条文が出現しています。平和のためには核兵器廃絶が必然であるとの認識かと思われませんが、核兵器廃絶によって平和が実現するわけではなく、アフガニスタン/イラク等の現状を見るまでもなく、通常兵器を以ってしても平和を手に入れることはできません。平和事業と核兵器廃絶との関係が不明なので、平和と核兵器との関係を明確するような条文とすべきかと思えます。</p> <p>(平和事業) <第3条>: <第1条>では、「…もって市民の平和で安全な生活の維持向上に資することを目的とする」となっています。<第2条>で挙げられた平和事業によって、<第1条>の目的が達せられるのでしょうか。例えば、「(1)日本国憲法に規定する平和及び核兵器廃絶の意義を普及すること。」によって、平和で安全な生活の維持向上が図られることの因果関係が不明です。平和の意義や核兵器廃絶の意義を認識したとしても、平和で安全な生活が得られるとは思えません。因果関係を明確化すべきです。</p> <p>2. 条例自体に関する意見 いまさら平和事業を推進する条例など必要なのでしょうか。政府やマスコミが煽っている北朝鮮の脅威だけではなく、安倍政権のアメリカ追従一辺倒によるリスク、中国リスク、中近東リスクなど、日本の平和を脅かす喫緊のリスクは多く存在します。単に「平和都市宣言に関する決議(1970/12/07)」 「非核兵器平和都市宣言に関する決議(1984/10/02)」の流れとして、本条例というだけで良いのでしょうか。パブリックコメントの資料の裏面に、他の自治体(鎌倉市と藤沢市)の取り組みが紹介されています。今回の平和事業は、これらの自治体の取り組みを見て、横浜市も同様の平和事業をしなければ県庁所在地として拙いとも考えてのことと勘ぐってしまいます。「核兵器廃絶」をキーワードにするなら、「核兵器禁止条約」への対応を抜きにはできないとも思えます。横浜市として「核兵器禁止条約」批准を政府に求める決議をすとか、横浜市独自に「核兵器禁止条約」に賛成する決議をすとか、条例の中に「核兵器禁止条約」への賛同を盛り込むとか、様々な対応があるのではないのでしょうか。そのような取り組みを市民にアピールすることが、市民に平和や核兵器への理解を促進することになると思います。さらに言えば、日本共産党という全国に跨る政党としては、横浜市だけではなく、全国の自治体で「核兵器禁止条約」批准へのキャンペーンを行うという対応もあるのかと思います。</p>	<p>条例提案は議員に付与されている議案提案権を行使したものであり、横浜市会の二つの決議にそった横浜市の平和行政の推進をはかることを目指したものです。</p>
<p>「横浜市平和事業の推進に関する条例について」のパブリックコメント 日本共産党横浜市議団 殿 標記「横浜市平和事業の推進に関する条例について」に以下にコメントします。 条例に制定には積極的に賛同します。 第1条の横浜市会の平和都市に関する決議とありますが、これは「平和都市宣言に関する決議」「非核兵器平和都市宣言に関する決議」のことと考えます。具体的にこの決議を挿入したほうがいいのではとお案が得ます。これらの宣言は非常に崇高な宣言であるから。ネットで確認すると、過去には上述宣言に基づき、平和のための事業を実施してきたようです。これをさらに発展させるための条例であると理解します。この条例が制定されることを要望いたします。</p>	<p>第1条で謳う「横浜市会の平和都市に関する決議」は、ご指摘の通り、市会での二つの決議を指しています。今回の条例はこの決議にそって横浜市が平和行政を展開することを迫ったものです。決議の明記については、今後同類の決議があった場合、条例改正が必要となるので、明記を避けたものです。</p>
<p>①唯一の被爆国日本、被爆証言を語り継ぎ、核兵器のない世界を実現するという立場を条例の前提として、明確にすること。②いま私たちは、国連で核兵器禁止条約が成立した時点にたっています。この時点で作る条例というのは国連で採択された核兵器禁止条約への署名・批准・発効に役立つものでなければなりません。そのことを明記した条約にすべきです</p>	<p>条例提案は横浜市会の二つの決議にそった横浜市の平和行政の推進をはかることを目指したものです。ご意見は、条例提案の趣旨説明に反映させました。</p>
<p>横浜市平和事業の推進に関する条例の制定に賛成します。私たちは毎年5月3日の憲法記念日に、音楽や舞踊を楽しみながら、平和憲法の意義や改憲の動きなどについてみんなで考えようと、「鶴見平和フェスティバル」を開催してきました。今年で11回目になります。開催に当たり、この行事を広く区民にお知らせしたく、鶴見区の後援や広報紙に案内掲示を求めてきましたが、実現していません。横浜市平和事業の推進に関する条例を制定することにより、私たちのような市民レベルの運動にも弾みがつくと期待します。是非条例制定を実現してください。なお、横浜市平和事業の推進に関する条例(素案)の第3条(4)平和に関する行事を実施すること。及び市民が行う平和に関する行事を支援すること。を加えていただければ幸いです。また(1)日本国憲法に規定する平和及び核兵器廃絶の意義を普及すること。とありますが、日本国憲法に核兵器廃絶についての直接的な規定はないので、誤解されないため(1)日本国憲法に規定する平和、並びに核兵器廃絶の意義を普及すること。としてはいかがでしょうか。以上2点ご検討ください。(mail送信エラーとの御指摘あり)</p>	<p>第2条で謳う「市民と協働して平和事業を推進」のところで市民の平和行事への支援を包含させているつもりです。市の法制担当も「及び」が適切な表記としています。</p>
<p>横浜大空襲の文言を入れてほしいです。</p>	<p>検討しましたが、文言挿入する所が見つからず、断念しました。なお、今後も引き続き5月29日を横浜大空襲の日として本市の記念日に定めるよう求めてまいります。</p>
<p>平和事業推進にあたり、積極的にうけとめる一市民として一言、ヒバクシャ署名の推進を述べます。で承知のとおり、昨年7月7日の国連会議において核兵器の使用だけでなく、持つことも配備することも禁止した核兵器禁止条約が採択されたことは、長年の被爆者の努力と市民運動の世論形成・日本人の良心が実を結んだものと確信します。ここにおいて、日本政府がこの歴史的条約にサインをしないことへの批判も国内外である中で、鎌倉市議会と相模原市議会が国への意見書を出したことが、意義あるものです。ぜひ横浜市議会におかれましても要請します。またヒバクシャ国際署名を世界数億集める目標でとりまかれていますが、市長自らがサインし、先頭に立つ自治体が増えてる中、横浜市長や市職員、公的施設で署名用紙を置いていただきたいことなどを含めまして、盛り込んでいただくよう要請します。</p>	<p>条例の性格上、具体的な施策を盛り込むことは困難ですが、議会の質疑を通して、実現をはかるべく力を尽くします。</p>
<p>この条例に基本的に賛成致します。これにつけ加えていただきたいこととして次の二点がありますので、よろしくご検討下さい。 1.横浜市の条例ですが、横浜市民だけでの「平和」はあり得ません。市の平和事業が我が国々で世界の平和につながっていくものと考えます。例えば第一条の末尾に次の様な語句を挿入してはどうでしょうか。「…市民の平和で安全な生活の維持向上と日本及び世界の平和に資することを目的とする」 2.平和事業は市だけで行うものでなく市民が広く自発的に行うことが大切だと考えます。市民がこの条例の目的に沿って行う平和事業(原爆展・横浜空襲展・平和に関する集い・平和行進等々)に対して市が積極的に「後援」「会場の提供」「補助金の支出」等々の支援を行うことを、第3条に書き加えることを強く要望します。</p>	<p>横浜市長の権限を及ぶのは市内に限定されています。市民の平和事業への支援は、第2条で謳う「市民と協働して平和事業を推進」のところに包含させています。ご指摘の「支援」は条例に基づいて市長にその実施を要求します。</p>

<p>今年の定例会に「横浜市平和事業の推進に関する条例案」を議員立法として提出するということは貴党が本条例を極めて優先度の高いものとして考えておられるのだろうと推測します。</p> <p>平和の希求は人類普遍の願いであり、高潔な理念追求であります。何人も賛同するものでありましょう。</p> <p>しかし、現在我々日本人が、日本国が直面している大きな課題は内には少子高齢化という社会構造の変化、外には安全保障環境の悪化であります。また地方に於いては、過疎化・産業衰退・貧困化が進んでいるという状況にあります。</p> <p>そのような環境下、一地方公共団体の横浜市が取り組むべき課題の優先順位は、合理的・合目的に考えて他にあるのではないかと思います。</p> <p>話は変わりますが、私は国の統治が成り立つ大まかな構造は次のようなものだと考えています→図は右欄参照</p> <p>地方公共団体に於いても上記それぞれのカテゴリーで挑戦頂きたい課題があります。その地域の産業強化、教育の充実、貧困対策等々です。安全保障の問題は一義的に中央政府の担当するところとなるのでしょうか。</p> <p>今回の貴党の条例案の目玉は第3条(1項):日本国憲法に規定する平和及び核兵器廃絶の意義を普及することにあるように思うのです。現在の憲法改正の動きに抵抗する為の一つの方策なのかなと推測してしまいます。</p> <p>こう考えて行くと貴党の政策に対する根源的な疑問が出てきます。</p> <p>私は国と国との関係も、社会における人と人との関係と同じで、自分の身は自分で守る、自立自存の精神で働く、その上で他社とも協調していくことだと思うのです。平和、平和と叫び、武器は持ちませんと宣言していけば国を護れるというのは全くの幻想だと思います。</p> <p>貴党のお考えを聞かせていただければ幸甚です。</p>	<p>条例提案は議員に付与されている議案提案権を行使したものであり、横浜市会の二つの決議にそった横浜市の平和行政の推進をはかることを目指したものです。条例提案の趣旨は2月16日開催の本会議での趣旨説明をご覧ください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・「横浜市平和事業の推進に関する条例」をぜひ制定してもらいたいと思います。 ・横浜には、先の太平洋戦争で言葉に尽せない体験をされた方々がたくさんいます。 私の友達にも、満州からの引きあげ時、二人の妹さんを亡くし、お母さんの辛さを身近に感じてきた人がいます。 この条例の実現によって平和への思い、二度と経験してはならない体験を若い人、とりわけ子どもたちに伝える機会が増えたら、どんなに有意義かと思えます。 ・日本人の戦争体験だけでなく、現在でも、英・米等の戦争(ベトナム・イラク・・・)からの帰還兵が劣化ウラン弾などによる影響で苦しんでいることなどから、国際紛争を武力によって解決しようとするのが、多くの不幸を生んでいることを広く伝えていく機会を作してほしいと思います。 ・日本国憲法の前文、9条・基本的人権についての条に沿った事業の運営を望みます。 	<p>現憲法の基本原則が貫かれる市政を目指すことが私たちの基本的スタンスです。</p>
<p>73年前、横浜は当初、広島と同様、原爆の標的にされました。その標的からはずされた翌日の5月29日に空襲に見舞われ、8千人を超える命が奪われ、当時の市民の約半数の31万人が被災しました。また、市民や子ども、船をはじめあらゆるものが駆り出されました。戦後も横浜は占領され、いまなお、米軍基地があります。アジアの人々もまた、戦争によって、夥しい命が奪われ、いまも、世界には、1万数千発の核兵器があり、核の脅威にさらされています。そうした中で、昨年、国連で核兵器禁止条約が採択されたことは、核と戦争の脅威から免れる大きな希望をもたらしました。こうした流れを一層加速させるために、横浜市非核宣言に命を吹き込み、力を発揮させる必要があると思います。非核平和都市横浜として、ピースメッセンジャー都市横浜として、平和首長会議に加盟している横浜として、戦争も核兵器もない平和友好が発展する世界のため次のような平和事業を実施することを望みます。そのために条例が役立つことを望みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市庁舎や市会棟、区役所など公共施設に非核平和都市宣言やピースメッセンジャー都市、平和首長会議加盟都市の看板を設置するなど様々なアピール・宣伝を実施すること。新市庁舎も同様、設置するとともに、平和都市宣言のモニュメントや横浜市花であるバラを生かし平和のバラ園を設置すること。また、被爆樹木の植樹を行うこと。 ○赤レンガ倉庫のような歴史的建造物や市役所移転後の現市庁舎などを利用し、国際平和にむけて、ピースメッセンジャー都市横浜として、横浜大空襲をはじめ横浜市内外及び国際的な戦争と平和に関する資料を展示・研究・学習できる国際平和博物館をつくること。 ○引き続き横浜大空襲や戦争関連資料の提供を市民に呼びかけ、収集・保存を行うこと。 ○横浜大空襲や日吉台地下壕など市内の戦争遺跡を保存すること ○市内戦争遺跡表示板を設置し、そのマップやパンフレットをつくり、広報等でも紹介し、次の世代に戦争の悲惨な事実を伝える努力を行うこと。 ○再び戦争を繰り返さないために、戦争・被爆・空襲の実相を知らせ、平和展・平和市民のつどい等を実施すること。 ○横浜大空襲の日・5月29日を「横浜平和の日」に制定すること。 ○原爆パネルなどを購入し、市役所市民広間を始め、公共施設や市主催の諸行事、国際会議等で展示すること。また、姉妹都市などに送り、展示をお願いすること。 ○各区に平和行政の窓口を設置し、平和行政の事業計画を策定し、「非核兵器平和都市宣言」にふさわしい平和のとりくみを実施すること。とくに、横浜大空襲に関係する区においては行事を計画・実施すること。 ○次代の平和活動を担う青少年の育成のために、国連だけでなく、広島・長崎・沖縄へ中・高校生などによるピースメッセンジャーを派遣し、横浜市内各地で報告会などを行い、その体験を広げるとりくみを行うこと。 ○平和首長会議が提起している行動計画を積極的に推進すること。 	<p>ご提案は傾聴に値するもばかりです。実現にむけて引き続き力を尽くします。条例制定はそのためのものです。</p>
<p>この条例案は抽象的すぎて、今日の状況を考えればあたり前のことですが、核兵器廃絶だけが強調され過ぎていて、「平和事業の推進」という名にふさわしくない条例だと思えるので、賛成できない。「平和」というからには、戦争と裏腹の関係にあるものであるから、第3条には、71年が経過した先の大戦との関係で触れなければならないと思う。</p> <p>すなわち、過去の戦争を正当化することなく、加害の歴史に真摯に向きあい、侵略戦争を反省し、アジア諸国民との友好を前提に世界平和のために努力しなければならない。</p> <p>さらに、軍人はともかく、建設・船舶・看護などに征く軍属を含めた多くの国民が戦争に駆り出され、犠牲をしいられたわけであるから、戦後の救済が充分でなかったことをかえり見て、反省と補償がされなければならない。</p> <p>そして、多くの非戦闘員が空襲・爆撃で犠牲をこうむったからには、軍人・軍属なみに補償されていない現状を観た時、国家補償の観点から措置が取られなければならない。</p> <p>以上のことを充分吟味し、第3条が構成されなければならないと考えます。</p>	<p>もともと、この条例は理念条例という性格を有しています。条例提案は横浜市会の二つの決議にそった横浜市の平和行政の推進をはかることを目指したものです。</p>

<p>条例案に対し大賛成ですが、日本都道府県の状況、共産党のスタンスの実状が説明されておらず残念です。即ち本件は沖縄、改憲問題同様党派を超えた日本の根本問題であるから。即ち；</p> <p>1. 各県、各市（例えば引用されている、藤沢、鎌倉含め）で条例を設け施行しているところはあるのか？あるとすればどこか？条例ない県・市で平和運動をやっている県・市の実態はどうか？</p> <p>2. 条例をすでに設けている県・市の議会は党派を超えていと思うが、実態はどうか？</p> <p>3. 横浜市において、今回条例案を支持している政党はどこか？それとも共産党単独の考え方なのか？</p> <p>4. 今回の運動に関する共産党のロードマップ（戦略）はできているのか。あるとすれば概略でも発表してほしい。</p> <p>ご承知のとおり、これは党派を超えるべき国家的な問題であり、共産党の名前は時としてマイナス影響を及ぼし折角の良策が共産党アレルギーが多い中で無に帰す可能性が非常に高いと思います。是非とも、協賛政党を作り（民進、立憲等）政党横断的な形を完備して前に進めて頂きたい。勝てる可能性を持った形を示して欲しい。</p>	<p>意見募集は、あくまで条例案の規定に対するものであり、回答はその限りとさせていただきますことご理解願います。</p>
<p>本日（1/19）ぼ東京新聞でも記事になっていますが、「民間税制調査会（民間税調）」が1/15に発表した見解を見てください。その中でも、特に海外旅行に出かける人から、一律千円を新税（出国税）としてとることは、許してはならないと思います。</p> <p>今、横浜市民に呼びかけるとしたら、出国税反対かカジノ（IR）法案反対だと思います。</p> <p>今回の平和事業に関する条例は、抽象的過ぎて多くの支援は得られないと思います。もっと身近な出国税やカジノについて取り組んでください。</p>	<p>もともと、この条例は理念条例という性格を有しています。条例提案は横浜市会の二つの決議にそった横浜市の平和行政の推進をはかることを目指したものです。カジノ誘致反対の論戦と市民運動の前進に力を尽くします。</p>
<p>私の住む白楽（東横線）上空は毎日、ヘリコプター（1機～3機）と、飛行機が飛びます。轟音です。南から北へ、北から南へ飛びます。</p> <p>20年前に白楽に転居して来ましたが、その当時はこのようには飛んでいませんでした。</p> <p>飛ぶ回数は、その日によって違いますが、毎日朝から夜まで6回位で、高度は時々かなり低い時があり、落ちるのではないかと怖いです。</p> <p>沖縄の人事とは思えません。自衛隊機か米軍機かも調べようがありません。ただ落ちないように祈るだけしかできない自分に、平和国家に生きているとは思えません。</p> <p>住宅の上を飛ばないように規制してほしいです。横浜ノース・ドックも閉鎖してほしいです。</p>	<p>横浜地域の空、海、陸上での米軍の動きがとくにノース・ドックの基地機能が強まっています。市民の命と平和、暮らしをまもるために返還は待ったなしです。取り組むを強めます。条例はその取組の大きな力になると確信しています。</p>
<p>平和都市宣言・非核兵器平和都市宣言をしているのですから、平和事業をするのは当然です。ノーベル平和賞をICANが受賞したのを記念して、中高生の修学旅行を広島・長崎に行く学校への補助金を出してもらいたい。</p>	<p>修学旅行への補助金支給は、差別的扱いとならないよう配慮が必要です。なお、平和授業、平和教育等のための補助金など行政支援は必要と考えます。</p>
<p>①横浜も空襲で焼野原になった、工場にいて助かったと聞いた。北朝鮮の挑発にアメリカが対峙し日本が同調している。戦争にさせないためにも、平和の声と運動を市民の多くが参加できるよう横浜市は支援して下さい。②戦争は核戦争になるのでは、非核都市宣言をしている横浜市は、核兵器禁止条約を批准するよう日本政府に要望して下さい。</p>	<p>ご指摘のような取り組みを横浜市政が行うことを目指すのがこの条例の目的です。正論を掲げ続けます。</p>
<p>横浜市に平和条例を作っていただきたい。平和条例の具体化として以下のような平和教育の徹底をお願いしたい。</p> <p>①広島、長崎、沖縄への修学旅行に取り組む</p> <p>②中田市長時代に教育委員会によって導入された偏向した教科書採択から穏健な教科書に戻してほしい。</p> <p>③反核教育、反原発教育を行ってほしい。</p> <p>④横浜大空襲（1945年5月5日）の日を定めて一人一人（市民）に戦争の記憶を徹底してほしい。</p>	<p>教育への政治的介入はしてはならないという原則を堅持したうえで、憲法にもとづいた教育を推し進めます。</p>
<p>1、学校への出前講和を行い、平和憲法を子ども達に徹底して知ってもらうようにしてほしい。</p> <p>2、第三条二の通り、区役所等で展示会を開催し、資料を区民に配布して平和事業を広めてほしい。</p> <p>3、第三条三にあるように、横浜市民と国内外の人々との交流を行い、意見交換や相互理解のための平和学習教室の開催や長崎・広島派遣事業を行って欲しい。平和推進団体との交流も。</p> <p>4、被爆者との体験証言会を実施して欲しい。</p> <p>以上、この条例素案が、この通り決議され実行されることを望みます。</p>	<p>平和条例の制定によって、ご提案のような取り組みの推進が容易となります。制定にお力添えをお願いします。</p>
<p>横浜市は平和都市宣言をおこなっています。しかしながら平和事業は国際都市のわりに貧弱です。他の都市とともに事業を具体的にすすめて下さい。 ・ヒバクシャ国際署名に市長がサインすること ・平和教育、被爆地への派遣を率先して行うこと。 ・横浜大空襲などの記録を展示する場所を作ること ・憲法の平和条項を学ぶ場を設けること ・世界にほこる憲法九条を世界に拡める努力をすること</p>	<p>条例制定されれば、市民が市長に迫る大きな力を得ることになります。</p>

<p>【賛成です】 賛成です。この条例ができれば横浜市民として横浜を誇る気持ちが湧いてきます。実態のある「平和都市」に近づける方法としてひとつの方法であると思います。条例の実効性を担保するため条例内に、毎年活動報告(成果)を議会又は市報などで公表するという項目を盛り込めませんか？</p> <p>【疑問と別の視点の必要性】 基本的には賛成なのですが、いくつか心配な点、疑問点などがあります。そもそも以前にあった「決議」についての市民、議会の当時の認識、理解と、現在との違いはありませんか？そのギャップがあるとすれば、単に「決議」があるからといっても、この条例の必要性についての認識の温度差が既にじていると思います。「決議」があることだけが直接的な動機ではなく、平和都市を希求することが本来のあるべき姿であると考え、これはこれとしても他にもやるべき事があるように思います。「決議」が生かされていないのでそれを生かす条例の作成は意味があると思いますが、一方で本来の横浜のあるべき姿を改めて追求することも意味があると思います。</p> <p>【横浜市のあるべき姿】 「横浜市民憲章」 「横浜市民憲章」みたいな横浜市が目指しているのは、こういう都市であると言うものはどこかにあるのですか？その中に平和や民主主義、市民の人権を初めとする諸権利を守るなどがあるのだとすれば、その実現を図るための具体策のひとつとして「平和都市宣言」が位置づけられるのではないかと思います。</p> <p>【平和都市の定義】 横浜は(非核兵器)平和都市としてどのような都市であるべきなのか、そもそも平和都市とは何かをしっかりと定義付ける必要があります。平和都市であり続けるためには、当然のことそのための活動、運動があることが必須となると思います。定義の中に「平和事業」で述べられている内容が盛り込まれれば良いと思います。つまり、活動することが前提の「平和都市」が定義付けられれば、条例になくとも活動することが求められる事になると思います。現市長が、国の動向を見極めると言っているのが本当だとすれば情けない話です。国の意向が特に平和や民主主義、人権などに反映されるとなると地方の自治が危うくなります。単に市長の政治姿勢のあり方を言うだけでなく、地方自治や横浜市の平和(国際)都市としての本来のあり方を論拠として市長を論破していただきたいと思います。 以上。</p>	<p>市会への報告義務付け提案は、提案通り条例に盛り込みます。</p>
<p>前略 文言上の若干の修正を加えるならば、より良い案になるものと遇考いたします。取り扱いはおまかせするしかございません。草々 第三条(3項)他の都市等→国内外の都市等 第二条との統一 (4項)行事を実施→行事等を実施 メディアなど想像がつかないほど発展しているので、網を広げるべき。 (5項)市長が必要→市長あるいは市長議長、(あるいは及び) 市長だけでなく、市民の代表は2名居るから、そのどちらかが消極的であったときに備えたい。 第二項 意見を聴くもの→意見を広く聞くもの及び発信したい。 (4項)と関連、広くということ強調したい。</p>	<p>提案は検討しましたが、文言はそのままという結論に達したことご了解のほどお願いします。第3条2項は、2条2項と重なるので削除します。</p>
<p>市会の議席が大幅に増え、議会報告を読むたびにその成果を実感しています。厳しい情勢の中での奮闘に日本共産党の存在感が十分発揮できるよう、微力ながら私にできることをやって行きたいと思っています。皆様のご活躍。本当に励まされています。</p> <p>1. 横浜大空襲の位置付けを明記し、それを伝え続けることを提起してほしい。〈5. 2 9横浜大空襲慰霊の日〉の制定などはどうでしょう？ 私事ですが、昨年の11月に横浜大空襲を経験されたお向かいのおばあちゃんが亡くなりました。空襲警報で下校となったおばあちゃんと友達は、駅のホームで下りと上りに別れそれぞれの電車に乗りました。それが友達との最後の日となりました。穏やかなおばあちゃん、多く語ることはありませんでしたが、その辛い経験があるからでしょう、私の発行している9条のお便りを読んでくださり、「若林さんは大変だから」と言って私の分までごみ当番(おばあちゃんの次が私の当番)をやってくださっていました。広島の平和式典参加者には、たくさんの折り鶴を折ってその思いを託してくださいました。 こうした。戦争体験者がどんどん他界されていくなかで、戦争体験者の思いを途切れる事なく伝えて行くことはとても大切だとおもいます。不幸なことに横浜は大空襲を経験しています。それゆえに、横浜市の平和事業にはこの空襲を負の遺産として後世に伝え続けることことをより強く意識して条例に盛り込んでほしいと思います。</p> <p>2、「憲法前文」の精神を活かす事業はできないでしょうか。 (4月から5月の市の広報の掲載するのはどうでしょう？) 1月18日付の「赤旗」の記事にもありますが、2015年から今までにイエメンの内戦で死傷した子どもは5000人にもなっています。残念ながら紛争はイエメンだけではなく、世界では毎日毎日、飢えと恐怖に苦しむ人、殺し殺されている人がいます。 私は、日本国憲法の「前文」は何度読んでも感動します。世界平和の実現のための全てが書かれている素晴らしい「前文」を活かすための事業はできないものでしょうか？ いろいろ思いはありますが、市の条例という枠があり難しいとは思いますが、ご検討いただけると幸いです。皆様のご活躍をとご健康をお祈りいたします。</p>	<p>検討しましたが、文言挿入する所が見つからず、断念しました。条例制定は横浜大空襲の日の制定へ大きな力になると確信しています。憲法前文に関わっては、2月16日の本会議での趣旨説明をご覧ください。条例は憲法前文に掲げられた平和条文を平和原則としています。</p>
<p>林市長が署名していないことにあ然としました(この広告を見て初めて知りました)。条例を制定する依然に大前提として、1984年の横浜の非核兵器平和都市宣言に胸をはってYES!!と言える人が横浜を代表する人間になるべきではないか。大きな石碑でも建てて、横浜の礎を築いてきた方々の都市宣言を大きくかかげ、そこに名を連ねることができる人が市長になるべきだ。「国の動向を見守る」という姿勢には「林文子」という人間の志がまるで見受けられない。ひどすぎる。 よって条例の第一条に「横浜市政にたずさわる者は、横浜の平和都市宣言に忠実に基づいて活動できる者である」とかかかげてほしい。小学生の息子が我が家には2人おりますが、どれだけ「戦争はダメだ」と学校で話を聞いても、横浜市のトップがそれでは、全くムダになってしまう。地域の戦争体験者の活動を市長はちゅあんと見るべき。横浜市立の小学校なのです。</p>	<p>この条例提案は、林市長に平和行政に積極的に取り組むことを求めるものであり、ご提案の真意は、包含されていると思料します。</p>

<p>貴党の本事業の推進に関する条例(素案)は、まことに良くできていると思います。平和に対する林市政は貴党の指摘する通りで全く冷淡です。また林市政は文化事業に対して冷淡で、かつて前市長まで行っていた文化事業を停止しています。平和事業も文化事業も行わない林市政を変えるには市民の力しかないと思います。何年か前は文化観光局を新設しましたが、新設の目的は市民が考えていた方向と180度違っていると思います。貴党の素案の名前を「平和事業を積極的に行う…」を「平和事業と文化事業を積極的に行う…」と、文化事業を加えてもらえると良いと思います。</p> <p>この事業をベースに具体的な平和事業と文化事業について各行事別に実行委員会を作り、市民代表が、積極的に活動できる組織を作ったと思います。</p> <p>5月を「平和と文化の月」として色々な行事を行ったらと思います。5月を平和と文化の月と定めれば毎年5月に種々な行事ができると思います。</p> <p>1.5月に憲法記念日を祝い、憲法について学ぶ講演会を行う。 2.平和を祝う音楽会を行う 3.高校生中心の駅伝大会を行う 4.中高生を中心とする広島、長崎の訪問を行う 5.横浜市の戦災についての啓蒙活動を行う</p> <p>等と種々考えられます。これらを通して市民に平和と文化について推進する機会が与えられると思います。以上提案します。</p>	<p>今回の条例提案は平和に限定したものであることをご理解ください。ご提案については、的を得たものであり、実施にむけて市への働きかけを強めます。</p>
<p>数年前になりますが、町内会で防災委員として地震、津波等の対応マニュアル製作に対応する意見を区役所(金沢区)に聞きにいきました折、私は常々気になっていた事を質問しました。それは、横須賀市に隣接するこの金沢区は、原子力空母に事故が起きたとわかった時、どんな方法で区民にその事を知らせ、日何するのか？というものでした。孫尾で笑われ“そんなことはまずない”知らせるなんてことは“上”が考え、なんらかの方法でこちらにおりてきて、それくらゐ指示が出て、皆さんに知らせる…との事。原子力空母の母港が近くにあることは、そのことのは是非も大事な問題ですが、ここココハマ市民の安全も大切なことで、くまなく市民の安全を守るためのとり決め等おこなわれえおくことを希望いたします。</p> <p>毎年、平和行進に参加しています。いつも思うことですが、金沢区では行進が通る時、区役所はまったくの無関係で残念に思っています。せめて区長さんとは言いませんが、平和を祈ることを共にする行動はできないものではないでしょうか？！せめて区役所前を通過する折は、何名かの方々のエールがほしいいつも思っています。</p> <p>そのような役所の行動が区民の皆さんの目にとまり、いづれ平和への行動に心を動かしていただける、そんな気が毎年しています。</p>	<p>区役所の平和行進への連帯あいさつは、行っている区があると聞いています。金沢区でも要請されたら如何でしょうか。</p>
<p>前略 文言上の若干の修正を加えるならば、より良い案になるものと遇考いたします。取り扱いはおまかせするしかございません。草々</p> <p>第三条(3項)他の都市等→国内外の都市等 第二条との統一 (4項)行事を実施→行事等を実施 メディアなど想像がつかないほど発展しているので、網を広げるべき。 (5項)市長が必要→市長あるいは市長議長、(あるいは及び) 市長だけでなく、市民の代表は2名居るから、そのどちらかが消極的であったときに備えたい。 第二項 意見を聴くもの→意見を広く聞くもの及び発信したい。 (4項)と関連、広くということを強調したい。</p>	<p>検討しましたが、現記述通りとすることにしました。ご了承下さい。</p>

<h2>条例制定に対する期待、激励等</h2>
<p>再軍備に猛進している安倍政権に同調する事なく、あらゆる核を棄て市から基地を無くし高齢者をはじめ全ての市民が安心し安全に楽しく明るく生活できる横浜になるようお願いします</p>
<p>どの国も先進兵器を用いての現在戦で国の防衛をすることはできません。まして、日本のような島国が武力によって安全保障ができないことは明らかです。そのことは、先の大戦で身に沁みて学んだことです。いかに困難であっても外交により平和な国家関係を築かなければなりません。横浜市平和事業は微力かもしれませんが、その意義に大きな期待を寄せています。</p>
<p>憲法違反の自衛隊をなくすことが最大最高のことと思います。5兆円余の金、25万人の隊員を使って、山、沢、川、森、海を「清潔」にすれば10年後には「豊かな」島になると思っています。</p> <p>「与太話」オリンピックは基本的にやらせない方が良くと思いますが、資本主義社会はお金を使うことが命。そうであれば毎年オリンピックをすると戦争に回すお金がなくなる</p>
<p>条例案に賛成します。核兵器はあってはならない兵器です。地球をも破壊するものです。同様に原発もあってはならない施設です。事故などで爆発したときは、核兵器と同じです。また、高レベル放射性廃棄物は、地球上のどこにも捨てることはできません(捨て場はない)</p>
<p>核兵器禁止条約に参加・署名することを国に働きかけ、実現を目指すこと。 ICAN(核兵器禁止国際キャンペーン)と交流し、核兵器禁止条約の意義・目的を市民に広く知らせる。</p>
<p>横浜市は、既に平和都市に関する2つの決議を上げています。 この趣旨に従い、平和行政の基本原則および、平和事業の推進について定める条例の制定を求めます。</p>
<p>ヒバクシャ国際署名にサインをしようしない林市長の態度は、民衆の苦境を顧みず核開発に突き進む北朝鮮と同じであり、本当に悲しく残念に思います。サインしない理由を述べず「国の動向を見守る」といういつもパターン(カジノと)、本当に何を考えているのか寂しいことです。</p> <p>又、平和都市宣言に関する決議(1970.12.7)や非核兵器平和都市宣言に関する決議(1984.10.2)も立派なものです。平和都市であることを宣言しているだけです。林市長はヒバクシャ国際署名にサインしなかったり「平和都市に関する決議の趣旨をふまえた条約」がなかったなんて(決議は30～50年も前にしているのに)議員の怠慢です(?失礼)。遅すぎます。</p> <p>横浜市が鎌倉市や藤沢市のように平和都市に関する決議の趣旨を踏まえながら「横浜市平和事業の推進に冠する条約」の制定をめざすこと、大賛成です。又、心より感謝いたします。成立することを心から切に記念しております。頑張ってください。</p>

<p>前は川崎で教員をしながら川崎市の平和事業や行事をしてきました。平和館ができて市内の民主団体の努力と運動は、つかさず続いており、市民のために役立っていると思います。今も平和行事や事業はおこなわれていますから、平和館に行き、見ることと川崎の共産党市議団の方々と話して見るのもよいと思います。主な行事をや事業をあげてみますと次の通りです。</p> <p>(1)毎年市民館と地域の団体で平和のつどいを開き講演や運動の支援をしています。(2)平和館の中では、平和に関するビデオやDVD、平和図書、川崎での空襲の記念など、いつでも見ることができます。川崎も横浜も太平洋戦争で焼け野原になり、多くの市民がなくなっています。(3)各学校に平和教育で利用できるパネル写真等があり、(4)また、小中学校に平和教育のための映画フィルム、DVD、ビデオテープなどを保管し貸し出しをしています。(5)教員の教育研究集会では、平和教育の部会があります(6)各区の区民祭では、平和コーナーをつくり原爆写真展や平和のためのDVDやビデオの上映をしています。(6)原水禁の平和行進は川崎市役所から多摩区役所まで行っています。</p>
<p>横浜市が平和都市宣言、非核兵器平和宣言していることの認知度は低いようです。具体的な活動、取り組みがなければ市民は認識できません。環境保護事業同様、平和を維持するための事業を推進する必要があります。平和教育は子供だけでなく、大人も忘れないために繰り返し認識することが必要です。</p> <p>かつての戦争に至る背景、経緯等を正しく知り、再認識し、同じ状態に陥らないよう全ての人の平和に対する不断の努力が必要です。</p> <p>核兵器に対する活動も長崎、広島だけに任せておけば良いものではありません。横浜市が核兵器廃絶のための取り組み、関連活動を推進することを希望します。これは米国との関係で国の判断や姿勢に承服できない状況であることから、被爆国の自治体として世界に訴え、自らも努力する義務があります。</p> <p>横浜市のみどり税と同様、平和維持活動による増税を招いても平和維持活動に取り組むことが必要です。戦争は最大の環境破壊です。環境保全と同様に力を入れ、宣言自治体として平和維持活動の推進を望みます。</p> <p>従って、横浜市平和事業の推進に関する条例(素案)が条例となり、平和維持活動が推進されることを希望します。</p>
<p>日本共産党の「横浜市平和事業の推進に関する条例」(素案)は、これまで2回にわたって横浜市議会で可決された決議を踏まえて、横浜市が今以上に平和事業の積極的に取り組むことを求める条例であり、横浜市民にとっては好ましいことだと考えます。</p> <p>昨年のノーベル平和賞は「核兵器廃絶国際キャンペーン」(ICAN)が受賞しました。この受賞には、長崎の被爆者サーロー節子さんの活躍も大きく貢献しています。</p> <p>世界で唯一の被爆国の日本に住む日本人として、とても嬉しいことです。</p> <p>世界平和の実現にむけて頑張っている人々へを応援する観点からも、同じ日本に住む私たちは足元から平和への活動に取り組みたいと願っています。戦争をしない国を憲法で宣言して70年以上、私は日本は二度と戦争をしない、ということの国の教育を通して身につけてきました。</p> <p>日本の、アジアの、世界の平和に地元から貢献したい、と願っています。</p> <p>このような市民の気持ちに応えるために、是非、横浜市における平和事業を今以上に活発にさせていただき、多くの市民が参加できる事業展開になることを期待します。</p> <p>是非、この条例(素案)を成立させてください。</p>
<p>賛成です</p>
<p>横浜市平和事業の推進に関する条例案に賛成します。これからも日本が戦争しない平和な国でありますように、また世界が平和であるように願う上から、このような条例は必要です。市民一人一人が草の根から声を上げ、広げていくことが大切だと思います。また核兵器廃絶は人類の悲願です。</p>
<p>市民であれば誰でも指示できる、他の政党支持者でもOKの条例案です。</p>
<p>貴社の案には賛成です！更に、北朝鮮モランボン楽団の来日交流を推進すべきです。私が力を入れているコーチング、レイキ、宝地図、交渉力策を共に学び、生かして影響力を10倍以上にする必要があります。</p> <p>自公等の与党も巻き込まないと成立させられないから！</p>
<p>成立に期待します。</p> <p>現市長の安倍の顔色うかがいの態度を市民にはっきり知らせてください。</p> <p>理想を失ったら人間はクズにしかありません。</p>
<p>大賛成です。積極的に推進してください。よろしくお祈いします。</p>
<p>貴素案について賛成します。(なおヘイトスピーチの撲滅も愛児名こととおもいますが、平和条例には入りませんか?)</p> <p>消極的な林市長の下で大変ですが素案について積極的に取組んでいただきますよう市議団の方々をお願いします。</p>
<p>国連総会で「核兵器は違法」との立場で、核兵器廃絶条約を締結した。一方、世界各地でテロや内戦に「にくしみあい」や「暴力」が繰り返されている。</p> <p>「日本が戦争しない国」を守り続け、世界平和に大きく寄与すべきだと思います。</p> <p>条例(素案)の「目的」「基本原則」及び「平和事業」は、まさにその趣旨に沿ったものであり、実現を強く望むものです。</p>
<p>ノーベル平和賞ICANの事務局長への面会を拒む首相「国の動向を見守る」方針の市長、それでいいのでしょうか。</p> <p>地方から国を動かす考えはないのですか。</p> <p>外国の方が訪れる横浜港を持つ市として、時の政権ではなく、世界に目を向けてほしい。核兵器廃絶・世界平和を目指してこそ真の国際都市といえるでしょう。</p> <p>そのために「横浜平和事業推進に関する条例」を制定すべきです。</p> <p>市のすべての政策で国の後追いはやめてほしい。</p>

1月16日の新聞記事を読み、私は80歳の老婆ですが黙視できず投稿しました。
1月15日ICANの事務局長が来日、広島訪問核兵器廃絶に取り組む姿が、居法で安倍首相に会えず失望したと（首相の逃げ？私個人の感想）、翌日の国会では核兵器禁止条約に不参加の件につき誠実な回答は共産党のみであった。
率先して世界に訴える義務があるはずの日本が情けないで残念です。それどころか戦前に逆行する政府、アメリカに追従のみの政府に不安を覚えます。70年前の戦争の傷と続く戦後の混乱は、子共心にも生き地獄でした。もう御免です。国民の平和への思いが憲法9条を守り続けました。今、あの戦争経験者は減り、戦争を知らない世代が社会構成の中心です。これは恐ろしいことに直面しています。
私共世代があのだ獄の体験を生きている限り次世代に語り伝え続ける義務があります。戦争は絶対悪、各は人類の滅亡であることを世界に叫び、世界ととの交流を通して、学校で地域で歴史教育、平和教育を普及し、行政が積極的に関わり実現に向けての活動を期待します。
現在、世界情勢は厳しく、一髪触発の危機をはらみ、不安です。誰もが平和を愛しています。市長は平和を望む市民に国際都市横浜にふさわしい平和事業を進めてほしいものです。カジノは望んでいません。人間の心は、そんなに馬鹿ではないはずで。人間の英知で平和運動の成果は大であること信じています。
孫やこどもの命を守りたい市民の素朴な願いです。

国連からピースメッセンジャー都市の称号を受けているのに、あまりにも貧弱な内容の事業しかやっていないことを知り、驚いています。平和憲法を守る立場に立って、中学校歴史、公民教科書採択にあたるよう市教委にも考えてもらいたいと思っています。そのきっかけの1つにこの条例がなればよいと思います。

今の横浜市は安倍晋三に顔を向けている林市長が居る限りは核兵器のない世界に向けて大きな波が起きていると言ったところで市長が核兵器3原則に賛成している安倍晋三と同じでは、我々が声を上げたところで何の役に立つか
林市長以下内閣に賛成している議員に首をすげかえなければ、平和事業の推進に関する条例は成り立たないであろう。我々一般は、平和事業を積極的に行う市政を目指し、条例提案をしますに賛成するしかない署名等に名前を書くことだ

横浜市は市長を見えいと、平和事業以前の田舎劇を行っているようで笑いたくなる。税金は高いのに、道路の向い側、東京都町田市と比較して生活している毎日、市民生活の充実度が格段、横浜は下だ。
横浜は緑税などと別枠で税金をとり、街に花を、などと言うより、生活に困っている人達をもっと細かに世話をする平和事業を進めてはどうか。こまっている子育て世代、たくさんいるよ。変な平和をかかがるより、横浜に住む人の平和を第一に処理して。

すべての人類は平等に生きていく権利があると思います。日本国は過去に植民地化を促す戦争を行い多くの生命を奪い、多くの日本国民の命を奪いました。又、原子爆弾により多くの国民の命を奪いました。
戦後、日本国は平和憲法を制定し、憲法九条に軍隊の不保持、戦争放棄を誓いました。
日本は世界に向けて恒久平和を掲げ、人類を滅亡に追い込む核兵器の廃絶に率先して取り組むべきだと思います。

※FAXでいただきましたが、切れてしまっているところがあり、その部分は…で表記します。
貴党の活動に心より敬意を表します。「核の平和利用」と称し、アメリカ国より原発が入りましたが、東日本大震災における福島第一原発事故やロシア「チェルノブイリ原発事故」に…「人間としてどう見るか」ではないでしょうか。昨年国連にて核兵器禁止条約が制定されましたが被爆国日本が賛成しなかった事は本当に残念です。“人類と核”は共存できない事を知っているはずの国会議員と公務員の皆さんはどう考えているのでしょうか。
今、安倍政権はインドをはじめ外国に原発輸出を決定し「事故」…発生した場合は“日本が補償する”約束をしています。（本当に残念です）
次の世代が安心して生活できる社会を渡していくには“核”なき…を実現し、平和な生き方を選択すべきです。ぜひ日本国憲法全文を学…横浜から日本から世界の平和を創るために今日までの条例をさらに発展させ…を要請いたします。

賛成です。いろんな工夫をして、平和を多面的にわかりやすくお願いします。

日本共産党の平和事業の条例案の通り成立させてください。

条例に大賛成です。横浜市からわずか数キロしか離れていない横須賀市に巨大な米軍基地が存在し、原発より危険だとされている原子力空母の母校になっている、さらに横浜市にまたがる池子の米軍住民がそれらを支えている。
まさに横浜から日本中に世界中に平和を求める声を上げ続けることは理に叶っている。

良い活動だと思います。他の市や区はもっとこのような「平和」への取組をしていると思うが、横浜市にはそういう姿勢があまりみえない。積極的ではないと思う。
他の市の例もありましたが、長崎や広島はじめとした場所への訪問、東京大空襲、横浜大空襲、また日本全国の空襲体験の街はたくさんあります。（例 長岡市）そこの交流、見学など若者はじめ市民がつながる事業をすべきと思います。応援します。

拝啓 今日、このチラシをいただいた事は運がいいなとまず思いました。だって組合とか会社とかでは相手にされないからであります。私は横浜に核兵器が落ちるという事を考えていません。核の保有国になる事は残念です。横浜市の市政には全く核兵器の影響はない事ですし。大政党や女性政党のパフォーマンスではないかと存じ上げます。政治に「ふざける」「なにしてんの」という言葉はおかしいと思いますが、自分は共産党のファンですのでこれからも、水で割った議論やきれい事などやめて、原発議論を分かりやすく社会に反映して欲しいです。
草々

私は広島や長崎に核兵器が使われていてとは思ってはいませんが、横浜市の平和事業推進費は少ないと思います。核兵器廃絶に向かって、国・地方自治体も一緒になって進んでいかなければならないと思います。地方が元気にならないと、国が元気にならないと思います。

本提案に諸手をあげて賛成します。70年決議、84年決議から見れば遅きの感があり、是非実現させて下さい。

賛成です。更に具体的には、私達がわからなくなっている戦時中の非人間的事実について、ドイツがフランスと協力して行ったような国際的検証作業をすすめ、確定事実がどこにあるのか、明らかにする必要があると思います。私達は日本国民ですが、大日本帝国政府ではありません。ですから他国から当時の政府の行為を非難された場合に、うっかり大日本帝国政府の立場から反発することも、謝罪することもないと考えます。(擁護したり、事実を曲げたり開き直ったら謝罪を免れません。・・現政府のように) -国籍を越えてネトウヨ達/宗教+ファシズムの恐しさを非難すべきでしょう。更に戦勝国の非道も明らかにすべきです。在日朝鮮人の高齢女性から、直接何故日本に住んでいるのか、無知にも尋ねてしまい、私達に隠されている史実が沢山あり、それがアジアとの友好を妨げていると感じました。(例)小学校低学年の頃、日本に連れて来られて働かされた-しかも無給

横浜市平和事業の推進に関する条例について

日本共産党横浜市議

団御中

はじめまして、鶴見区在住の羽鳥と申します。

「横浜市平和事業の推進に関する条例」拝読させて頂きました。

貴党提案のこの条例、一横浜市民として大賛成です。

ここ数年、現政権の平和を軽視した政治行動に心を痛める毎日を送っています。

「なぜ今、安保法案なのか」「なぜ、憲法を変えなければならないのか」

「なぜ、ICANのノーベル平和賞に賛同表明をしないのか」など、心に憤まんを抱えつ

つ、どんな状況でもしっかりと志を持ち続けなればと、自分を奮い立たせていま

す。林市長の大企業寄りの政策、また現政権寄りの考え方を思うと、ヒバクシャ国際署名にサインしない行動も、

残念ながら頷けてしまいます。そのような状況での今回の貴党市議団のこの条例の提案は本当に勇気づけられ

ました。私たち家族は日頃より、貴党を含めた憲法を重視した政治活動をしている政党や個人を支持していま

す。前回の国政選挙でも野党共闘の結果として、貴党が示した行動は称賛に値するものです。立憲民主党の躍

進は貴党の力添えがあったからこそと認識しております。今後も貴党の理念を大切にしつつ、協力できる政党や

個人との結びつきを大切に、地方行政レベルでも益々の躍進を期待しております。「横浜市平和事業の推進に

関する条例」、成立することを期待しております。

横浜市平和事業の推進に関する条例について 9条を守る事の大切さからChange.orgに於いて署名をさせて頂いている一人です。私は昭和23年生まれで子供の頃の街中は浮浪児や親たちは「おこもさん」と呼んでいましたが、かなり汚れた服装で汚れた袋を下げた身なりの人達を度々目にしました。錦糸町駅やガード下には、傷痍軍人が白い衣装とアコーディオンで物乞いをする姿を何度も見ており戦争の恐ろしさを私なりに肌で感じております。核廃絶はもちろんの事。つい70数年前の愚かな行為を忘れてはならない。平和のありがたさを世界に訴えていかなくてはならない。私は安倍総理はお題目総理と思っています。安倍お題目総理は岸元総理と同じように戦争がお好きなのでしょう。野山の綺麗な日本を守って下さい。

条例大賛成です。近年わが町(港北区篠原台町)の上空を飛行機の飛ぶ階数がひどく多く低空でベランダから顔が見えるようです。都岡のヘリポートにゆくのやら南から北、北から南とルートは同じです。近年特にひどく感じます。地位協定いろいろあると思いますが住宅地に飛ぶ、時には夜間もある飛行。沖縄のことも含めて神奈川横浜も危険きわまりない飛行、何とかしなければならぬ時代になったと思っております。

条例提案に賛成いたします。東京大空襲、学童疎開を経験。時々見る戦争の無惨で人間を狂気に追いやるテレビ、又、読書を通じて、核廃絶は勿論の事、平和を失う戦争に絶対反対いたします。戦争を知らない若者が増える昨今、平和事業の推進は不可欠と思っております。

条例提案に賛成します(横浜は大都市なのに弱すぎるよ) 戦争の軍靴の音が再びきこえてきます。長い長い間、日本共産党が政権をとって下さる日を待ち続けました。今!!今!!野党の代表として活躍してほしいと切に願います。安倍自民党に対決出来る党は共産党だけです。頑張るぞ!!! といっても高齢のため歩くのが困難。でも死ぬまで共産党です。

横浜市平和事業の推進に関する条例(素案)

に賛成です。安倍政権は国内外に戦争を煽り、核廃絶には消極的です。非戦・核廃絶は、昭和に教育を受けた者としては常識です。子供達に戦争・核兵器の恐ろしさを伝えなければ、また道を踏み外します。横浜市民は平和・核廃絶を積極的に推進し、他の都市や国々を巻き込んで非戦を広めるべきです。好戦的な安倍やトランプが権力を握っている今こそ平和と核廃絶が必要です。

核兵器禁止条約が採択されたこの時期にあたり、条例の提案はタイムリーです。歓迎します。市当局は事ある度に「ピースメッセンジャー都市」を言うが、具体的に何をやってきたか目に見えず、市長も核兵器廃絶「被爆者署名」に未だ署名していません。また「非核兵器平和都市宣言」も議会決議にとどまっており、市としての宣言を出しておらず、他都市では、モニュメント的なものも表示し、住民に対して、行政の姿勢を明らかにしているのに横浜市にはありません。平和予算についても20数万円しかなく「平和メッセンジャー都市会議」の年次総会にすら代表を送れない状態でよく言えたものちょっとあきれいています。予算を増やし本当にやる気をだしてもらいたい。そのためにこの条例を成立させ市長に責任ある平和を期待したい

横浜大空襲で横浜はたいへん大きな被害を受けた。こうした経験からも平和を愛し平和のために思いをよせる、行動する市・市民となるよう横浜市は行政としても働いてほしい。誤った歴史を子どもたちに学ばせる育鵬社教科書の使用を中止し、全世代が正しい歴史認識のもと未来を見すえていけるような施策を行ってほしい。

瀬谷区に住んでいて、藤沢市内の高校で非常勤講師をしています。藤沢市の高校生が、長崎・広島へ派遣されているのは以前から聞いていました。感情豊かな十代の若者に、核兵器や戦争について知ってもらうことは、とても大きな意味があると思います。横浜市でもそういう事業が実現されるように、希望します。是非この条例を成立させて下さい。

条例(素案)の内容に賛成です。国連で核兵器禁止条約が採択され、また世界で平和の信頼を集めている日本国憲法9条。これをいかし、日本も批准そして先頭に立って核廃絶へ向うべきだと思います。暴力・殺りく・力づくで平和は築かれません。また、平和都市宣言・非核兵器平和都市宣言を「スローガン」にとどめず、具体的に市民とともに行動・実践する横浜市になるべきです。これでこそ国際都市と言えるのではないのでしょうか。市民の不断の運動が基礎と思いますが、戦争の悲惨さ・核の非人道性や核が、人類・地球そのものの存在を許さないことを事実をもって伝え、考える材料や場を提供することなどは、行政の自治体重大な責任ではないのでしょうか。

横浜市の平和都市に関する決議を読ませていただき、改めてこの決議の大切さを確認したところです。4人の男の子の孫は、小学校2年生(8才)幼稚園(6才)保育園(6才)そして昨年生れた1才3ヶ月の孫たちです。横浜市の平和事業の推進に関する条例が、この孫たちが成長するなかで、しっかり5項目を体験し、生きていけるように心から望みます。広島・長崎を学習し、核兵器のない世界への波を国際人として行動できる大人になっていくために。そのためには、その横浜事業への予算の大巾な増額をおねがいします。

御党の条例に賛同致します。条例の成立に期待しております。日本国憲法がなぜ平和憲法と呼ばれるのかが良く判る恒久平和主義の第9条と憲法の前文を活かした平和事業の必要性を感じております。御党の益々のご発展とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

1.北朝鮮問題などをはじめ中近東でも戦火が絶えない現在、平和事業推進条例の提案は注目に値するものです。2.国際都市横浜の港が、再び戦争のために利用されないよう、平和で国際交流の横浜港を大きくアピールしてほしい。3.日本国内で最大の都市である横浜市の平和のために果す役割は大きいと考える。もう一歩進めて、非核の神戸港方式の制度ものぞみます。

条例に大賛成です。横浜市からわずか数キロしか離れていない横須賀市に巨大な米軍基地が存在し、原発より危険だとされている原子力空母の母校になっている、さらに横浜市にまたがる池子の米軍住民がそれらを支えている。まさに横浜から日本中に世界中に平和を求める声を上げ続けることは理に叶っている。

横浜市の平和都市に関する決議を読ませていただき、改めてこの決議の大切さを確認したところです。4人の男の子の孫は、小学校2年生(8才)幼稚園(6才)保育園(6才)そして昨年生れた1才3ヶ月の孫たちです。横浜市の平和事業の推進に関する条例が、この孫たちが成長するなかで、しっかり5項目を体験し、生きていけるように心から望みます。広島・長崎を学習し、核兵器のない世界への波を国際人として行動できる大人になっていくために。そのためには、その横浜事業への予算の大巾な増額をおねがいします。

横浜市平和事業の推進に関する条例について 横浜市平和事業の推進に関する条例(素案)の提案に賛成します【パブコメ用紙とは別メモで:市長選挙でIR誘致には白紙、ヒバクシャ国際署名にはあいまいに拒否、林市長の不誠実さには怒りを感じます。】